

2026 年 7 月 23 日
日本センヂミア株式会社

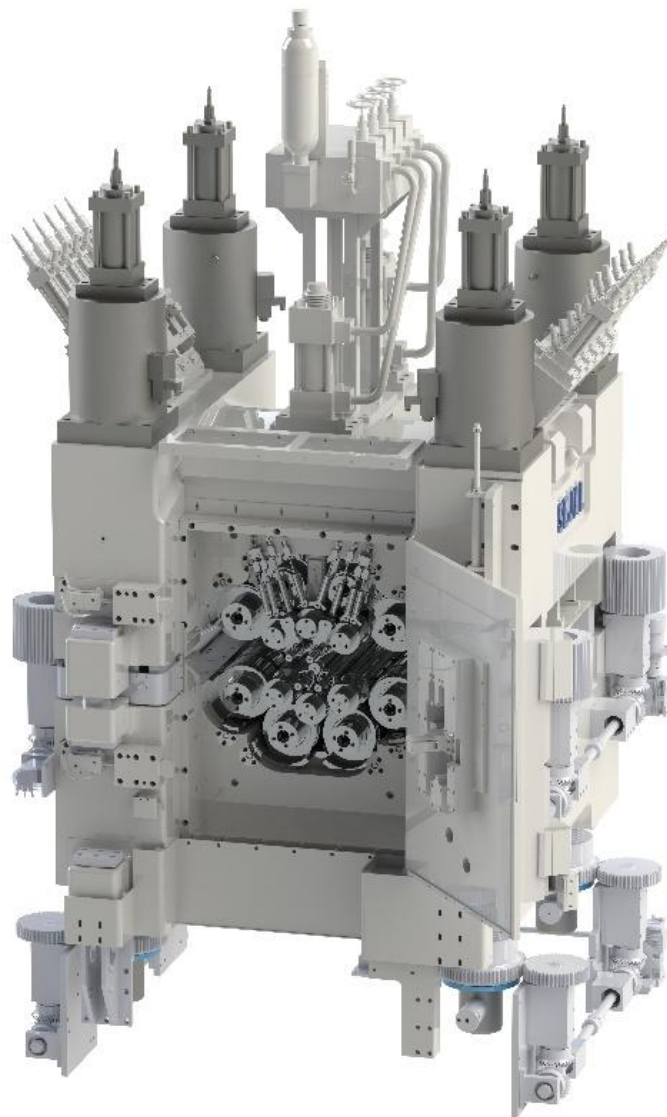
日本センヂミア 最先端銅合金圧延に最適な 20 段圧延機を開発 AI データセンター・電子材料向け高機能材料圧延分野を強化

日本センヂミア(株)は、コルソン銅やチタン銅などの最先端銅合金の極薄・箔材の圧延に適したプリストレス分割ハウジング式ワークロールワイドレンジ型の最新鋭 20 段圧延機を開発し、特許を取得、初号機の納入に成功した。納入先は中国の顧客。近年、AI サーバーや電子機器の高性能化に伴い、超高強度と高導電性を兼ね備えた高機能銅合金材料の需要が拡大している。同社はこうした市場ニーズに対応し、電子材料分野向けに最適化した新型 20 段圧延機を開発した。

新機種は、プリストレスによる高いミル剛性の保持、分割ハウジングによるハウジングのオープン量の増大による通板、ロール組替の容易さに加えて、新たに上、下ハウジングの高さ調整機能を装備させることにより、ワークロール径を小径から大径まで無段階で使用可能とし、更にパスラインも一定とした点が特徴。従来はワークロール径変更時に第1、2中間ロールの径の制約があったが、新機種ではこれらの中間ロールの径の制約がほとんどなく必要に応じワークロール径を変更し操業でき、幅広い条件で安定した圧延が可能となる。これにより最小板厚 30 ミクロンの箔圧延まで圧延可能となった。

同社の 20 段圧延機は、コンパクトながら高いミル剛性を備え、厚物から極薄・箔材まで対応可能な万能型設備として知られる。ダブル AS-U 機構による高い形状制御能力を強みとし、ステンレス、銅合金、特殊鋼などの高付加価値材料分野で広く採用されている。今回開発したワークロールワイドレンジ型は、とりわけハイエンド銅合金の薄物圧延に適しており、電子部品や AI サーバー向けコネクタ材などの高機能用途に対応する。納入先では、高付加価値銅合金の薄板・箔材の生産にすでに圧延機を稼働させている。

日本センヂミアは創立 64 年目を迎えるセンヂミア圧延機専門メーカー。これまでに 20 段圧延機および Z-HIGH 圧延機を国内外に多数納入しており、近年は老朽設備の更新・改造需要にも対応している。今後も高機能材料市場を中心に事業展開を強化する方針。



【連絡先】 日本センヂミア株式会社

代表取締役社長 鈴木秀洋

総務部 星野歌織

TEL: 03-6222-9650

suzuki@sendzimir.co.jp

hoshino@sendzimir.co.jp